

第4回山城地域における府立学校再編整備に係る懇談会概要

1日 時：平成16年10月26日（火）午前10時30分～午前11時30分

2場 所：京都府総合教育センター講堂棟内会議室

3配布資料：別添のとおり（掲載している資料は第4回懇談会で修正された後のものです。）

4 主な意見

委員から

- ・高校の発展的統合の「発展」の部分を強く明確にして、公表する必要がある。そうでなければ悪い印象だけを与えてしまう。ぜひ魅力ある学校を作ってほしい。
- ・統合した新しい高校が既存の高校と同じものであるならば、単なる数合わせでしかない。京都独自の特色ある高校にしなければ意味がない。さらに学力だけでなく、「京都の伝統、文化」に重きをおいたようなものも必要である。京都を支えるという将来的展望を持って進めてほしい。
- ・山城地域の高校が未来永劫現状維持というようなことは誰も考えていない。目標は高く持っていただき、府民から歓迎され、未来が素晴らしくなるような発展的統合を目指してほしい。
- ・養護学校が専門性をもって障害児教育のセンター的役割を果たすためには教職員の意識向上が必要である。
より保護者のニーズに応えるべく、教職員の意識向上・改革を意見に追加したい。
- ・養護学校の教育活動を医師が理解して、障害のある子どもを持つ保護者に紹介できるよう、医療と養護学校の連携を深めて欲しい。
- ・どんな手法であれ、高校の発展的統合や養護学校の整備には時間がかかる。養護学校再編整備が早期に実現されるよう期間短縮の努力が必要である。
- ・高校の発展的統合と養護学校の再編整備を並行して進める上で、地域の人々の理解を得るための説明が大切であり、納得の得られる内容が必要である。

府教委から

- ・4回にわたる懇談会において、山城地域における府立学校の再編整備について教育行政、学校現場、保護者の視点からのさまざまな貴重な御意見をいただいた。今後いただいた意見等を踏まえ再編整備の具体案を策定していきたい。